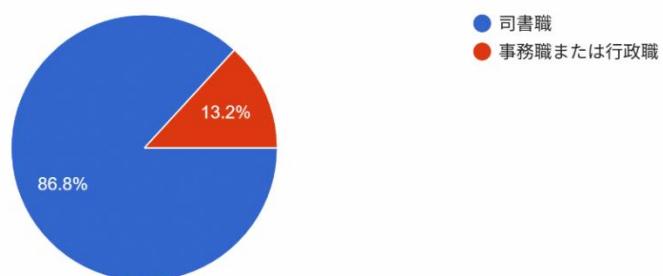


■動く図書館に関する職員アンケート結果概要（回答 77 件） 概要版

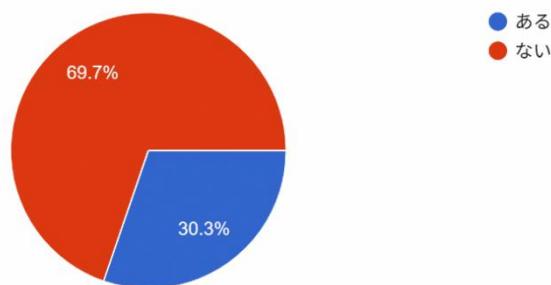
1. あなたの担当業務を教えてください。

76 件の回答



2. 豊中市で動く図書館の業務を担当した経験はありますか。（研修での添乗を除く）

76 件の回答



(Q3 以降の記号の使い方)

◎何人もの回答者が触れていた意見、多数の意見（・はそのなかの主な意見）

○その他の主な意見

Q3. 動く図書館業務について、あなた自身の印象を教えてください。

&lt;概要&gt;回答 74 件

◎夏冬の屋外業務は本当に大変そう。雨の日は本をぬらさないように配慮するなど天候に左右される部分も多く、体力的にきびしい業務。臨機応変な判断力も必要。

◎（館のカウンター業務に比べ）利用者との距離が近く、利用者との会話も多い。新しい出会いもあり、楽しくて、やりがいがあると思う。

- 利用者に喜ばれることも多く、巡回を心待ちにする利用者の存在を実感でき、本と利用者をつなぐ図書館本来の使命を果たすことができる。
- 自分の選んだ図書を実際に利用者が借りていく姿を近くで見ることができ、棚づ

くりの楽しさを実感できる。

- 利用される方が手に取られる資料の傾向や表情、様子がよく見える業務でもあり「この作家さんが好きな方ならこの本も読まれるだろう」などと考えながら巡回に向けた準備をする時間はやりがいのひとつだった。
- 利用者の声を直接、聞くことができ、フィードバックもしやすい。
- セルフ貸出機が普及するまえの図書館の雰囲気が残る。
- 研修で動く図書館業務を体験しました。遠方で図書館に足を運ぶことができない人など、たくさん的人が利用されているのを見て、利用者一人ひとりの1か月の習慣の一つに動く図書館があることを実感しました。

◎多様な利用者への対応、レファレンスやステーションに合わせた蔵書構成など、図書館司書としての経験や力量が問われる業務であり、司書として自分自身が成長できる機会だ。若い年代のうちに体験しておくべきだ。

○常連、少数、固定された利用者向けサービスに陥りがち。

○滞在時間が短いのではないか。

○また担当して添乗してみたい。

Q4. 市民から、動く図書館についての要望や使ってみた感想等をきいたことがあれば、その内容を教えてください。

＜概要＞回答 54 件

◎近くまで来てくれるのありがたい（特に高齢者）。

◎自分の家近くにも来てほしい。巡回日数や場所を増やしてほしい。

○近隣同士が集まって、話ができるいい機会になっている。

○巡回場所や動く図書館そのものを知らない人も多い。

○赤ちゃん絵本のミニコーナー、司書のおすすめ本は重宝している。孫はこの棚の本を読んで育った。

○もう少し遅い時間に来てくれたら、学校帰りの子どもたちが利用できるのに。

Q5. 動く図書館が提供するサービスについて、改善すべきあるいはもっと伸ばすべきと思う点があれば、その理由も含めてご記入ください。

＜概要＞回答 44 件

◎土日の巡回を増やしたり、子どもの下校時に合わせて巡回したりと、巡回日時、場

所、回数等の拡大、あるいはより効果的な巡回日時等を検討する。

- ・滞在時間も延長できないか。

◎イベント（特に子ども向け）やショッピングセンター等への参加を増やし、普段図書館を利用しない層に向け、読書や動く図書館の魅力のPRの拡大を図る。

◎椅子や机を増設し、居場所や交流の機会としての機能を高める。

◎真夏の巡回について、利用者と職員の健康のため見直す。時間短縮、比較的涼しい午前に巡回、8月巡回中止など。

◎マンパワーが不足している。

○リファレンスや読書相談など、司書と利用者の近い関係を活かした取り組みを拡充する。司書セレクトの棚をつくるのは良いアイデア。

○読み聞かせの拡充。

○中央館に伴う建物館の閉館・縮小をうけ、台数と巡回場所を増やせば。

○館に比べ、チラシ等の附属情報が少なくなるので、動く図書館にデジタルサイネージを付設する。

○図書に関する様々な悩みに応える「動く図書館ポスト」を付設する。

○動く図書館の業務は職員のローテーションで担うのはどうか。

Q6. 動く図書館では、建物の図書館を利用することが困難な方の読書活動を支えるため、施設巡回サービスをおこなっています（現在は豊中支援学校と児童発達支援センターの2か所）。市内の施設で、新たに巡回してはどうかと思う場所があれば、その施設と理由を教えてください。

＜概要＞回答 39件

◎夜間中学校。読書や学びの支援が必要とされている現場であり、新しく学習に挑戦されている方の読書意欲に応えられる。

◎こども園等。お散歩で来館できない園の子にも、よみたい本を自分でさがす体験を。

◎障害者支援施設。来館が困難な人が多い。

◎高齢者施設・介護施設、病院。来館が困難な人が多い。

○不登校や家庭に事情のある子の居場所に寄り添えれば。

○市内の広い公園（服部緑地、つばさ公園『ma-zika』、ふれあい緑地など）。多くの人が立ち寄ってくれると思われる。

○団体等から要望があった場所へ出向く日をつくる。

- 通勤通学の人に向けて、駅近くに週1回程度開設する。
- こども園や高齢者施設も考えられるが、公平にすべてを巡回するのは無理があるので現行で良いように考える。

Q7. 別紙の「動く図書館の今後の方向性について」をご覧いただき、お気づきの点があれば、ご指摘ください。

＜概要＞回答 25 件

- 交流機会、居場所機能の拡大の方向性はその通りだと思う。椅子や机、日よけの増設は望ましい。

- ・地域のコミュニケーションを増進させ、居心地の良い空間にできるような、大人向けイベントも手掛けてみては。
- ・本を囲んだサロン的な場は、特に公共施設が少ないような地域ではより重要になると思う。
- ・独り身の高齢者や子育てしている世代など、他人とのコミュニケーションを必要としている方々はたくさんいると思うので、図書館ではできない地域の方同志の交流を動く図書館が発展してくださればいいなと思います。
- ・「関連部局との連携強化による、子育て・健康関連サービスなどの提供」の取組みに賛成する。
- ・図書だけでなく、ちょっとした日用品など他のものも扱うことができれば、利用者にはとても便利なサービスになるのだが。
- ・“動く図書館とキッチンカーが連携するなど、巡回日を月一の小規模なイベントとすることで、より交流の機会や居場所を作ることができないか。

- 小型車両の活用で利用しやすくなる点もあるが、場所や日程、サービス内容や職員配置など、十分な検討が必要だと思う。

- ・小型車両の導入には賛同するが、現行車が入れる場所は積載冊数の多い現行車で、小型車両もなるべく積載冊数を多く取れるようにしてほしい。
- ・現行の「とよ1」では、冊数の準備や機動性から多くのステーションの巡回は難しいと考える。車両の小型化によるステーション数の増加、回数の増加も考えられると思います。また、既存図書館における予約の増加や、サービスポイントの利用増など、予約に関するニーズも高まっていると思うので、予約専用として多くのステーションを回るのも良いかなと思います。
- ・先日のテレビ放送で、小さい車にブックトラックを積み込んで2台目として走ら

せていた市があり、良いアイデアだと思った。書架がある車に改造するのはお金もかかるので小回りのきく2台目として今後検討しても良いかも。

○巡回については、公平性が感じられる一定のルールが必要。

Q8. 他自治体（海外含む）の事例で、移動図書館に関する面白い取り組みがあれば教えてください。

＜概要＞回答 20 件

○以前勤めていた図書館では移動図書館で高齢者施設に伺う際、キセルや石炭のアイロンなど古道具を持ち込み、懐かしい話をしながら回想法をしていました。

○香川県のこども図書船「ほんのもり号」は面白いと思いました。

<https://www.honnomori-gou.com/>

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/chiiki/rito-kaso/kodomo-tosyokansenjigyou.html>

○瀬戸内は離島が多く、その昔も広島県立図書館が移動図書館船を運航していた。

<https://0845.boo.jp/times/archives/26020>

（瀬戸内タイムズ 文化船ひまわり号が「ふね遺産」に認定）

○地域のイベントにおいて移動図書館が出店している事例

千葉県佐倉市（公共空間×移動図書館×豊かな日常）

大阪府柏原市（ライブラリーガーデン）

○実現は難しいと思うが、オランダの事例で「二階建てに変身する移動図書館」がある。内側と外側の二重構造になっていて、内側に書架、駐車時に外側部分が上にあがって閲覧スペースとなる構造。移動図書館にも閲覧スペースを設けることができたらと思う。

<https://current.ndl.go.jp/car/18032>

（カレントアウェアネス 二階建てに変身するオランダ図書館）

<https://www.domusweb.it/en/design/2011/04/11/biebbus-the-expanding-mobile-library.html> （写真付き紹介記事[英語]）

○本の貸出と同時に無料のコーヒーの提供をして、市民同士が会話できるスペースを作っている場所があるとテレビで見たことがあります。

○災害時の支援、積んでいる本を用いた心のケアだけでなく、ソーラーパネルと 9.6Kwh の大容量蓄電池による電源供給や物資運搬にも備えている。

○松江市立図書館（移動図書館が「あつまれ!!はたらくくるま 2025」に参加）

○三田市立図書館（有馬富士公園で「森の図書館」　ハンモックに揺られてのんびり  
読書）

9. 動く図書館について、ご意見・ご質問があれば自由にご記入ください。

＜概要＞回答 43 件

○自分が読みたい図書ではなく、「自分が知らない図書の発見」は、図書館、そして動く図書館でなければできないと思う。

○「動く図書館こそ図書館の最前線やねんで」と私が新人の頃に教えてくださった先輩の言葉がずっと印象に残っています。

○その地域の方々にとってではなくてはならない存在だと思う。図書館に距離的・心理的に遠い市民の方へ本を届けてほしい。

○テレビ大阪の「誰も知らんランキング」を見た。本市の動く図書館が府内でも上位にランキングされており、誇らしかった。本市の自慢できる特色の一つだと思う。

○長く続いてほしい。